

# 会 議 録

## 1 会議名

令和元年度第9回高土区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

(1) 令和2年度地域活動支援事業 採択方針等の確認について（公開）

(2) 次期委員への申し送り事項について（公開）

## 3 開催日時

令和2年2月20日（木）午後6時30分から午後7時30分まで

## 4 開催場所

高土地区公民館 2階 中会議室

## 5 傍聴人の数

なし

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：青木正紘（副会長）、飯野憲静（会長）、飯野正美、金子和博、中嶋真一  
細谷八重子、横川英男、横山とも子（欠席4人）

・事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、藤井係長、田中主事

## 8 発言の内容（要旨）

### 【田中主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【飯野会長】

- ・挨拶

### 【田中主事】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

**【飯野会長】**

会議録の確認：横山委員

次第3 議題「(1) 令和2年度地域活動支援事業 採択方針等の確認について」に入る。事務局より説明を求める。

**【田中主事】**

- ・資料1、資料2に基づき説明

**【飯野会長】**

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

では、令和2年度の地域活動支援事業は資料記載のとおり募集を行う。

以上で、次第3 議題「(1) 令和2年度地域活動支援事業 採択方針等の確認について」を終了する。

次に、次第3 議題「(2) 次期委員への申し送り事項について」に入る。事務局より説明を求める。

**【田中主事】**

- ・資料3、資料4に基づき説明

**【飯野会長】**

まず、資料3について、質問や意見等がある委員は発言願う。

**【飯野 正美委員】**

旧高士スポーツ広場にある体育館と研修棟の除却について、現在、どこまで話が進んでいるか。

**【田中主事】**

来年度に除却する予定はないと聞いている。

**【飯野会長】**

当初、昨年9月頃に解体すると話していた。

**【田中主事】**

担当課としても除却したいと考えているが、財政との兼ね合いもある。進捗があり次第、地域協議会で報告したいと思う。

**【青木副会長】**

地域としてはいつ頃を目途としているか、全く目途が立たないかを知りたい。

**【飯野会長】**

現在、高士小学校の体育館が雨漏りしている。しかし、それすらも直せない状況にあると聞いている。そのため、来年度に高士スポーツ広場の除却費用を予算要求していないとなると、いつ除却されるかは分からない。他に資料3で意見等はあるか。

(発言なし)

次に資料4に入る。今期委員の協議内容を次期委員への申し送り事項としてまとめていく。最初に「地域活動支援事業」について意見を求める。

**【横川委員】**

子育て世代の活動や人を呼べる祭りを前に進めるようなやり方をしてほしいと思う。そのためには、より多くの意見を聞くことが大切だと思っている。そういった機会をどのように作るかが、次期委員の課題になると思っている。

**【青木副会長】**

地域活動支援事業の予算は限られたものである。そのため、いかに地域のために有効活用するかが大事になる。そのため、継続性のあるものを支援していくことが大事だと思う。地域活動支援事業については、地域をより良くするために、新たな採択方針のテーマを効率的に進めてほしい。

**【飯野 正美委員】**

今年度は補助希望額が大きい事業の影響もあり、3つの事業が不採択となってしまった。削減方法を検討し、補助額を減額してでも採択できるような方法を考えてもよかったように思う。

**【金子委員】**

地域協議会委員をして分かったことは、採点が全てではないということである。それを理解するためには、地域協議会委員にならないと分からないと思う。

**【中嶋委員】**

地域活動支援事業については、審査までの間に提案団体等から話を聞き、それから審査・採択に移ったほうがよいと思う。採択されなければ申請した意味が無くなってしまうため、上手に配分してほしいと思う。

**【横山委員】**

特に今期の地域協議会は、地域活動支援事業で終わってしまった印象が強い。地域活動支援事業がメインとなってしまっている現状からすると、地域活動支援事業を何

かしらの起爆剤として、変化を起こさなければ変わらないと思う。もちろん提案してくる団体は、地域をよくしようと思い、提案内容を一生懸命に考えてくる。だが、団体も提案内容が地域に必要なのかということきちんと考える必要があると思う。次期委員もこの事業が高士区をよくするために必要なのかを1年目から考えて取り組んだほうがよいと思う。1年目だからと言って遠慮していると、あっという間に4年間は終わってしまう。

#### 【細谷委員】

地域住民の協力が必要だと思うが、地域協議会自体があまり認知されていない。頸城区では地区の放送で「何日に頸城区地域協議会があり、傍聴席の用意があるため来てください」といった内容が毎月流れている。傍聴に来るかどうかは別として、地区放送等を利用して活動を周知してもよいと思っている。結局、年寄りには自分たちには関係ない、若い人に頼めばよいといった考えがあると思う。

#### 【横川委員】

1週間ほど前に高士区の他団体と話す機会があり、地域活動支援事業に提案してみてもどうかといった話をしてみた。現状、提案するためにはパソコンが操作できなければ提案できないような状態になっている。また、補助金を利用するためには結果を残し、その結果を整理して報告書を提出しなければならない。そのため、高齢者にはすごくハードルが高く、なかなか提案ができないとの話を聞いた。手続きを簡素にしてほしいとはいわないが、手助けしてくれるような仕組みがあるとよいと思う。

#### 【飯野会長】

自分は長年、地域協議会に携わってきたが、地域活動支援事業については事務的にかなり改善されたと思っている。最初のころは全て自分たちで申請書を仕上げているため、それを考えると改善されたと思っている。

#### 【横川委員】

改善されたと感じているのは、地域協議会に参加し、地域活動支援事業の審査を経験しているからだと思う。しかし、過去を知らない人たちには分からない。これから新規で提案しようと考えている人たちは、提案する手間を考えただけで躊躇ちゆうちよしてしまうと思う。そのため、少しでも分かりやすくする工夫や説明等を事前説明会で話せばよいと思う。提出方法の説明や提案書のひな形を作れば、初めての人もそれなりに興味を示してくれると思う。ただし、高齢者でパソコンを不自由なく使いこなせるとい

う人は多くないため、例えば、代わりにパソコンの操作を手助けしてくれる人がいればよいと思う。

#### 【飯野会長】

自分は8年間、委員として地域活動支援事業に携わってきたが、100万円単位の事業を提案年度だけ実施して、その後は一切実施しない事業もある。例えば、飯田町内会の堤防整備等には何百万円もの補助金がかかっているが、飯田町内会の住民は、採択後も手入れや花見等を継続している。しかし、同じような事業を実施した地域の中には1回限りで終わったところもある。何のために何百万円もかけて事業をしたのか分からない。それが非常に残念である。少額の提案であればよいということではないが、ある程度の金額をかけて実施した事業については、事業を続けていくことを考えてもらいたいと思っている。補助金を貰った時だけ実施するのではなく、その後も継続してもらいたいと思っている。次年度は、高士ルミネや稲谷の大杉の保存事業といった高額な事業が提案されると思う。地域の人たちが継続して見守りや手入れをしてくれる状況であればよい。それと同時に、1年限りの小さなイベント的な事業があっても、それはそれでよいとは思っている。継続できる事業が1番よいが、内容によっては継続できなくてもよい。

次期委員への申し送り事項については、審査の際に委員が団体の構成員や代表であった場合には、該当事業に関する発言を控えてもらうといったことになると思う。他に地域活動支援事業について意見はあるか。

(発言なし)

次に、「自主的審議事項」について意見を求める。

#### 【横川委員】

事業を継続している団体もあるが、1年で終わってしまった事業もある。そのため、地域協議会委員には事業を続けられるかを見抜く力も必要だと思う。自分も地域協議会委員として事業を審査してきた中で、後悔の念が残った事業もある。しかし、提案の際に団体の想いを熱弁されると賛同してしまう部分もある。

#### 【飯野 正美委員】

地域協議会委員を4年間務めてきた中で、高士区がこんなふうになればよいといった夢や希望はたくさんあった。しかし、それを実現するための過程が大変であり、道のりが険しいことを実感した。人口減少の抑制を地域協議会のテーマにしてよいのか

と思ったこともある。もっと企業が参入できるような体制があれば、すごくよい意見が飛び交うようになると思う。例えば、高士スポーツ広場の建物を解体し、企業が入ることができれば、色々なことができると思うことがある。しかし、きっかけとなる核の部分がはっきりとしていない。高士区の住民は、こうなったらよいといった希望があると思うが、少しずつでも前に進んでいく過程が1番大変なことである。意見としてはまとまっていないが、企業が参入できるような状況になれば、もっとよいアイデアが出てくるのではないかと思う。

#### 【金子委員】

自主的審議事項については、旧高士スポーツ広場、少子化、行事に人が集まらない、空き家等の様々な話があった。次期委員に申し送りたいことは、身の丈に合った議論をしてもらいたいということである。少子化対策を地域協議会が何とかしようと思っても、無理だということはよく分かった。そのため、次期委員には今できることを何とかするための協議を希望する。ほんの些細なことでよいと思う。予算があれば大きなことをすることもできると思うが、地域協議会委員はお金を決めるだけであり、動かすことはできない。こういうふうにしてもらいたいとお願いをすることしかできないが、できないことをしても仕方がないため、できることから協議してほしいと思う。

#### 【中嶋委員】

地域協議会は実行部隊ではなく、審議してどうするかを決める場でしかない。次期地域協議会の自主的審議事項のテーマとして、どのようなものを協議するかは分からないが、同じようなテーマが挙がってくる。そのため、まずは誰が何をするかを決めて実行部隊を整えるところから考えてほしい。そして実行できる範囲内で自主的審議を検討してほしいと思う。地域協議会で協議をしても、実行する人間がいなければつまづくことになってしまうため、まずは実行できる人間や組織を整えたいうえで検討してほしい。

#### 【細谷委員】

自分は金子委員や中嶋委員の意見でよいと思う。

#### 【横山委員】

来たものを審議したところで新しいことは始まらないため、実行部隊の仕掛けを作らなければならないと思う。高士ルミネの時もお膳立てをした中で始まったイベントだが、今でも続いているということが事実である。どの組織でも同じだとは思いますが、

イベント当日に手伝ってくれる人はいても、メインで動く実行部隊はすごく少ないと思う。しかし、実行部隊がないことには何も始まらない。実行部隊を作らずに審議しても全然前に進まない。地域協議会という仕組みをきちんと理解して進めていかなければ、あっという間に4年間は過ぎてしまうことを伝えたい。

#### 【横川委員】

挙手をして意見する場合、なかなか手を挙げる人は少ないと思う。どの場面でも同じだとは思いますが、やはり話をすることが1番大切だと思う。そして、その中から何かよいものを見つけていくことが必要だと思う。今のように順番に意見を求めると素晴らしい意見や考えが出てくるが、挙手の場合は意見する人は少ない。そのため、お互いに話しやすい雰囲気を作ることが大切だと思う。素晴らしい意見を心の中で留めておくのではなく、積極的に話し合うことが大切だと思う。

#### 【飯野会長】

最後に、その他の活動内容についてである。最初に自分から話をする。今期委員は、研修をしてこなかった。先進地視察や講師を呼んでの研修もよいと思っていたが、委員の意見がまとまらなかったと同時に、会長である自分もまとめられなかった責任があると思っている。やはり、地域協議会委員は委員以外の人知らないことをある程度は知らなければならぬと思っている。市内には昨年に大型体育施設が新設され、県立武道館も完成した。市の財政が窮<sup>きゅうはく</sup>迫している中でも新設された施設があるため、地域協議会委員も見必要がある。場合によっては、市役所の木田庁舎に行ったことが無いという人もいるかもしれない。市の施設を見ることも1つの研修だと思う。また、先ほども話したが、高士小学校の体育館の雨漏りを直すこともできないような市の財政にも疑問を覚える。それを考えると、地域活動支援事業の予算が配分されたからといって、何でも補助金を使用する考えが成り立つかを、委員自身が市の財政状況を知る中で考えていく必要があると思う。それが地域活動支援事業の審査における判断材料になると思っている。そういうものから考えていけば、地域活動支援事業の高士区への配分額に対して、多ければ多いほどよいとの考えにはならない。

#### 【青木副会長】

委員の様々な意見を聞いていると納得できる部分が多い。これまでに色々な協議をしてきたが、次のステップに向かえていない理由として、核になれる人が出てこないことが1番の問題だと思っている。やはり、話し合いの場が無いことが原因にあると

思う。話し合っただけで同じ考えを持った人たちが集まれば、実行部隊になってくれる人も出てくる気がする。そういった話し合いの機会を作ることができれば、起爆剤とすることもできると思う。地域協議会委員だけではなく、その辺まで足を伸ばせるような会議になってほしいと思っている。

**【飯野会長】**

他に意見等はあるか。

(発言なし)

これまでの意見を次期委員への申し送り事項とする。

以上で、次第3 議題「(2) 次期委員への申し送り事項について」を終了する。

次に、次第4「その他」に入る。事務局より何かあるか。

**【田中主事】**

- ・地域協議会に関する意識調査について説明

**【飯野会長】**

2月26日(水)の午後6時30分から高士地区公民館で令和2年度地域活動支援事業の事前説明会を開催する。各委員から積極的な参加を願う。多くの人から事前説明会に参加してもらい、地域活動支援事業を知ってもらいたい。特に各町内会からは、自分たちの町内会の将来や高士区全体のことを考えた中で、より多くの提案をしてもらえればと考えている。

**【青木副会長】**

- ・閉会の挨拶

**【飯野会長】**

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。